

**神戸常盤大学**  
**「令和 6（2024）年度『第Ⅱ期中期実行計画』**  
**に基づく各組織の年間活動報告」に関する**  
**外部評価報告書**

1. 目的

本学では、「令和 6（2024）年度自己点検・評価報告書」として、「令和 6（2024）年度『第Ⅱ期中期実行計画』に基づく各組織の年間活動報告」（以下、「年間活動報告」とする。）を取りまとめました。この年間活動報告は、「第Ⅱ期中期実行計画」に基づき、担当組織（学科、委員会等）が設定した「年度の目標と活動計画」に対して、本学独自の自己点検・評価基準に従い「年間活動報告及び自己評価」を行ったものです。

この外部評価は、本学が行った「令和 6（2024）年度自己点検・評価書」に基づき外部有識者によるご評価いただくことにより、本学自己点検・評価結果との差異について考察を行い、外部評価の結果を踏まえ総括的な評価を行うことはもとより、大学教育事業の質の評価の客観性を高め、改善を図ることを目的としています。

2. 評価方法等

2.1.実施方法

「令和 6（2024）年度『第Ⅱ期中期実行計画』に基づく各組織の年間活動報告」に基づく、書面による評価

2.2.実施スケジュール

書面調査期間：令和 7（2025）年7月1日～9月20日

評価報告書提出：令和 7（2025）年9月20日

2.3.外部評価委員

委員 田中 幸夫 氏（神戸市長田区長）

委員 半部 英敏 氏（公益社団法人 兵庫県診療放射線技師会 会長）

委員 久保 幸穂 氏（株式会社リクルート グループマネジャー）

2.4.学部・学科構成

神戸常盤大学

保健科学部	医療検査学科
	診療放射線学科
	口腔保健学科
	看護学科
教育学部	こども教育学科

### 3. 外部評価委員による評価結果

#### [1. 教育に関する計画]

##### (1) 教育の質保証の推進

###### 【優れた点】

- ・概ね、「本年度の目標と活動計画」どおりに実施されている。
- ・「ときわコンピテンシー」に基づくカリキュラムの再検討や教職員からのフィードバックなど、教育コンテンツの見直しを継続的に実施されている。
- ・学修支援に加え国家試験対策により、国家試験の合格率が、いずれも全国平均を上回っている。
- ・各科の専門性を十分に発揮し、担任やゼミ担当者等の積極的な関わりや支援により、高い就職率を誇ることができている。

###### 【改善すべき点】

- ・授業評価アンケートで、どの学科においても学生の授業以外に学修した時間の評価が低い。
- ・卒後アンケートの回収率が年次ごとに低くなってきている。
- ・災害の発生時の避難手引書（防災マニュアル）の見直しを進めるとともに、避難訓練を実施していく必要がある。

##### (2) 多様で柔軟な教育体制の構築

###### 【優れた点】

- ・地域交流センターは、地域資源との協働を学びに結びつけ、大学と地域をつなぐ総合窓口の機能を発揮している。ボランティアセンターの運営を担っており、総勢800人を超える学生が参加し、学生の社会貢献意識を高めることができている。
- ・「知」の拠点として「TOKIWA健康ふれあいフェスタ」を開催し、過去最多となる来場者数となった。本学に関わるあらゆるステークホルダーとの協働により、地域住民の健康増進と福祉の向上に寄与するイベントとなった。

###### 【改善すべき点】

- ・基盤教育カリキュラムの見直し、本学独自のリエゾン・モデル、本学の特色を活かした学科・学年横断型カリキュラム、地域連携型教育、「超ときわびと」科目の開講など、多様で柔軟な教育体制の構築のための様々な検討が行われており、今後は検討されたプログラムの具体化と実践及び評価が望まれる。

#### [2. 入学者選抜に関する計画]

###### 【優れた点】

- ・医療検査学科、こども教育学科、口腔保健学科において募集の早期化に対応した3月度のオープンキャンパス継続している。
- ・入学者選抜について、IR推進室との協働によって、過年度踏襲ではない制度検証と改善を実施している。

- ・ ども教育学科において、高校生の多様な経験や強みを活かせる入試を新たに導入している。
- ・ 高校生の情報収集行動に合ったSNSの活用を実施している。

**【改善すべき点】**

- ・ SNSやオープンキャンパスで体現される「在学生のリアル」について、大学ホームページでの展開・広報が望まれる。
- ・ 募集の早期化や競合の動向に合わせ、3月オープンキャンパスの実施学科の拡大検討が望まれる。
- ・ 放課後オープンキャンパスや、ナイトオープンキャンパスなど、猛暑対策並びに高校生、保護者の参加しやすさを重視した機会の拡大が望まれる。
- ・ まなぶる▶ときわびとやリエゾン・モデルをはじめとした、競合比較で強みとなるポイントについてホームページやSNSでのコンテンツ化と導線の検討が望まれる。

**[9. 学部・学科の特色化に向けての計画]**

**【優れた点】**

- ・ 学生個々の特性、能力の向上を中心とした教育体制において、専門学科にありがちな国家試験合格を目標と挙げるだけでなく、学問の教育を中心とする姿勢が評価できる。
- ・ 専門職に務める卒業生のスキルアップに対して注目するのは、医療界の専門性向上への貢献に値する。また、入学前の学生教育の学力と専門性学問の習得能力は、一致しないと言われている中、新しく開設された学科にもかかわらず、調査し学生教育に取り入れているのは素晴らしいと思われる。

**【改善すべき点】**

- ・ 目標と活動計画に掲げている項目において、活動報告の実績自己評価が、準備中の項目もあるが、実施不足の内容の記載が少なく感じる。